筑波大学附属病院で１年間以上、準教育施設で１年間以上の研修を行います。専攻医の採用状況、各施設の指導医の状況により、適宜調整があり得ます。
各施設の区分と実施される研修の詳細は以下の通りとなります。

基幹施設
筑波大学附属病院
地域のリウマチ性疾患の診療における中核的な医療機関の果たす役割、高度な医療、難治例・複数の診療科が関与する症例・稀少疾患を中心とした診療経験を研修します。また、臨床研究や症例報告などの学術活動の素養を身につけます。

準教育施設
常勤指導医在中（認定教育施設）
①　茨城県立中央病院
②　ひたちなか総合病院
③　土浦協同病院
④　茨城西南医療センター病院
⑤　いちはら病院
⑥　筑波学園病院
各施設においては、地域の第一線に立ち、患者の生活により近づいて比較的頻度の高いリウマチ性疾患を中心とした急性期医療と慢性期医療を経験することにより、地域医療や全人的医療を研修します。

非常勤指導医のみ
①　土浦協同病院なめがた地域医療センター
②　つくばセントラル病院
③　軽井沢病院

教育施設外研修
①　総合病院　水戸協同病院